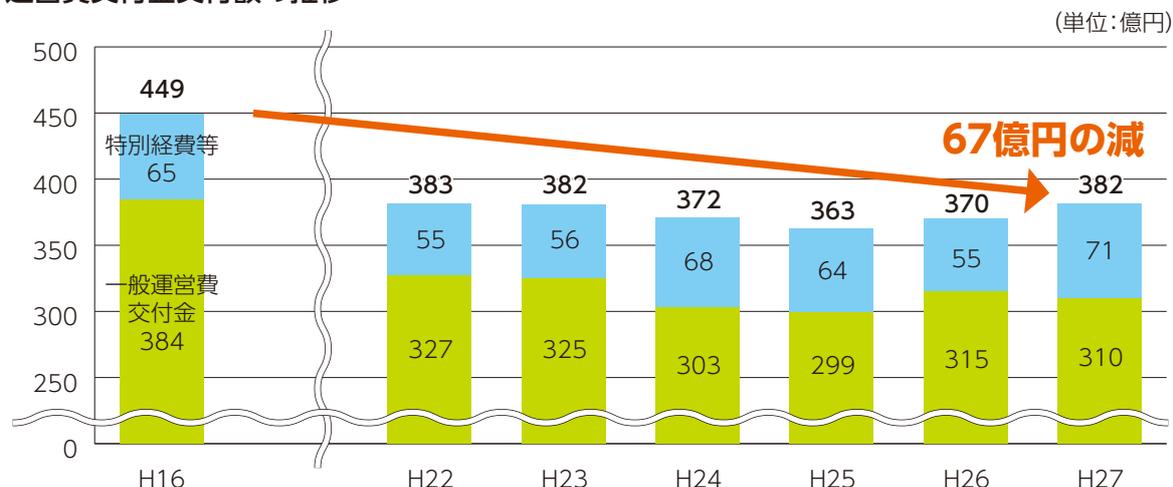


北大の収入はどう推移している？

ポイント1

運営費交付金は毎年削減されています

運営費交付金交付額の推移



国から交付される運営費交付金は、毎年削減される仕組みになっており、法人化当初の平成16年と比較すると67億円近く削減されています。

経営の効率化を図り、外部資金等、自己収入の増等に対応することが求められています。

※各年度に交付された金額であり、前年度の繰越額等を含む決算報告書の運営費交付金収入（P3）や業務の進捗等に応じ計上される損益計算書上の運営費交付金収益（P12）とは一致しません。

ポイント2

学生納付金は免除制度の拡充により減少傾向です

学生納付金収入の推移



学業優秀でありながら、経済的に恵まれた環境にない学生に対しては、入学金及び授業料の全額または一部について、免除する制度があります。

国からの支援もあり、平成27年度も引き続き、授業料の免除枠を拡大しています。

ポイント3

大学病院の経営努力により病院収入は増加しています

附属病院収入の推移



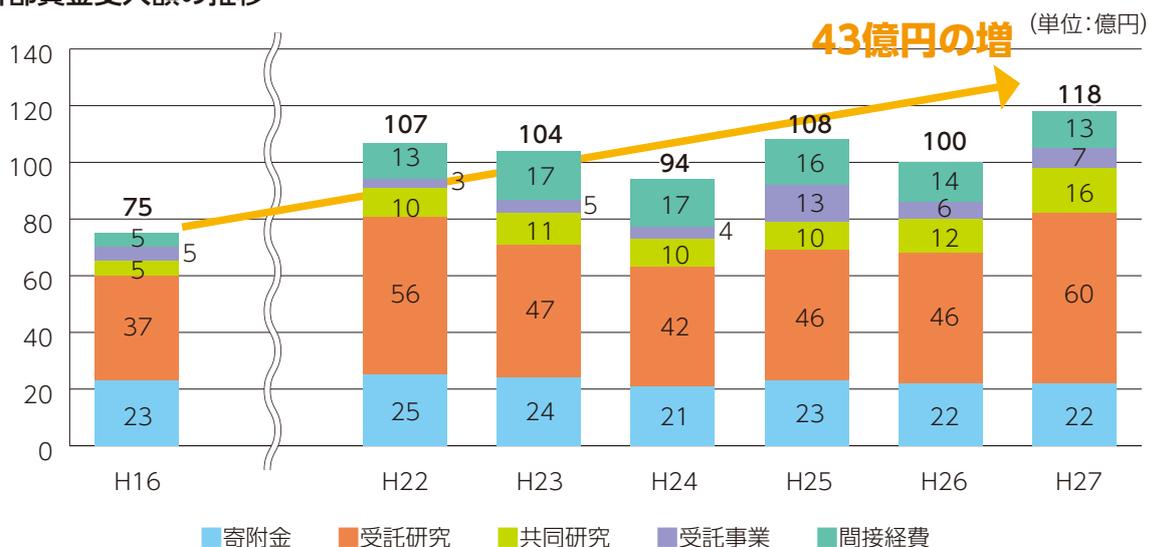
国立大学病院は、医療人材を養成し、高度医療の提供や、新規治療法の研究開発を通じ、安心安全な国民生活を実現する使命を負っており、利益のみを追求するものではありません。

北大病院は、これらの使命を着実に果たしつつ、経営の効率化に努めており、附属病院収入は増加傾向にあります。

ポイント4

外部資金の獲得拡大に取り組んでいます

外部資金受入額の推移



国立大学法人の事業拡大のためには、民間等から外部資金を受入れることが重要となります。北大においても、研究者が企業等に事業化、製品化の可能性のある技術及びノウハウを紹介する説明会を開催する等、外部資金の獲得拡大に取り組んでいます。

※各年度に受入した金額であり、前年度の繰越額等を含む決算報告書の外部資金収入 (P3) とは一致しません。